

鏡川流域パートナーシップだより No.178 R6.10.2



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川の鮎が「第25回清流めぐり利き鮎会」で準グランプリに！



9月20日(金)に開催された「第25回清流めぐり利き鮎会」で準グランプリに輝きました！この大会は、高知県友釣連盟が主催する、全国各地の清流が育んだ鮎の塩焼きを、味・見た目・香りなどの基準で食べ比べ、グランプリを決めるものです。

全国59河川から集められた天然鮎の中で、高知県で唯一、鏡川の鮎が準グランプリを受賞したことをたたえ、高知県友釣連盟から鏡川漁業協同組合に「準グランプリ獲得証明書」が贈られました！

☞ 鏡川漁業協同組合の職員さんに証明書を見せていただきました！

自然豊かな鏡川の河川環境が続くことを願って、日々精進します。今後とも、鏡川をよろしくお願い致します！



☞ 体験チケットを通じて、高知市内・外のユーザーからコメントが届いています！

「ぼっちり」を通じて、高知市の皆さんが鏡川清流保全に努めていることを知りました。その結果が今回の準グランプリにつながったのだと思います。本当におめでとうございます。

鮎は「わた」に水の影響が強くと出ています。審査員が「わた」まで召し上がって審査し、獲得した準グランプリ。鏡川の水がいかに綺麗か、分かりました。

これからも、綺麗な鏡川をみんなで守っていきたいですね。

地元の記事でも紹介していただいています！

移住者も一緒に鏡川源流域の景観を守っています！

9月29日(日)に、鏡川上流域に位置する土佐山・平石地区の土佐山百年碑周辺の道路で、地域住民が草刈りを行いました。

平石地区は、鏡川のほとりの35世帯ほどの小集落。まちのコイン「ぼっちり」にスポット登録し、鏡川環境保全や関係人口創出に寄与する地域の取組を体験チケット化することで、関わりを可視化しています。

作業に参加した9名のうち、7名が地区外からの移住者。移住してきた人も地元の人も、ともに汗をかいて、鏡川源流域の豊かな自然環境や暮らしを守り、将来につないでいきます。

☞ 体験チケットを通じて、高知市内・外のユーザーから労いの言葉が届きました！



この手間暇かけた作業が長い年月をかけて将来につながっていくと思うと本当に尊い作業だと思います。

お疲れ様です。また土佐山にお伺いしたいと思います。

移住者でも参加しているあたり、素敵な地域なんだろうなって分かります。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android